

# 斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ)の 要防除水準を改訂します

斑点米率0.1%(1等米基準)にするための

## 新しい要防除水準は……

1. ほ虫網50回振りすくい取り虫数 **6頭**
2. 調査時期 **穂揃い期～出穂7日後**
3. 複数種混在している場合は、  
アカスジカスミカメ以外のカメムシを  
1.5頭に換算



## すくい取り調査の方法は……

1. 使用する網 直径36cm、柄の長さが90～100cm
2. すくい取り方法

畦畔から10条分ほ場の中へ入り、前進しながら、すくい取る場所が重複しないように、調査者を中心に半円を描くように網をふる

3. 調査をしてはいけない時

降雨時、強風時、  
水稻の穂や葉先に  
水滴が付いている時



## 斑点米カメムシ類と斑点米の被害

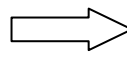
斑点米カメムシ類とは？

→ 斑点米

籾を吸汁して、**玄米に傷や斑点**を生じさせるカメムシの総称(9科65種)

極少量の斑点米混入で玄米の外観品質が低下 玄米の検査等級が落ちる  
(1等米:1/1000:0.1%、2等米:3/1000:0.3%、3等米:7/1000:0.7%)

米価の下落・産地イメージ悪化

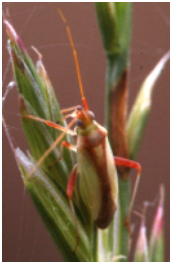


農家収入に直接影響  
米の有利販売の大きな妨げ

## 鳥取県で発生する斑点米カメムシ類

約30種類発生するが、**主要種は4種**

アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ  
アカスジカスミカメの発生・被害が最も多い(最重要種)



## アカスジカスミカメの発生生態

県内全域で発生。中・西部で発生が多かったが、近年、東部でも発生増加。

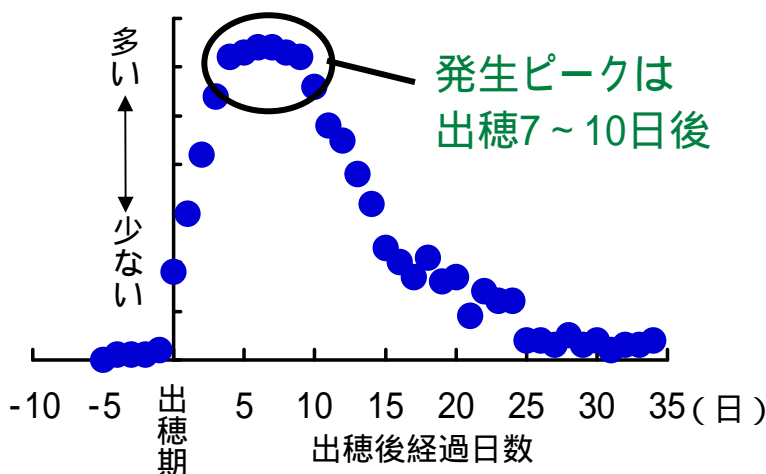
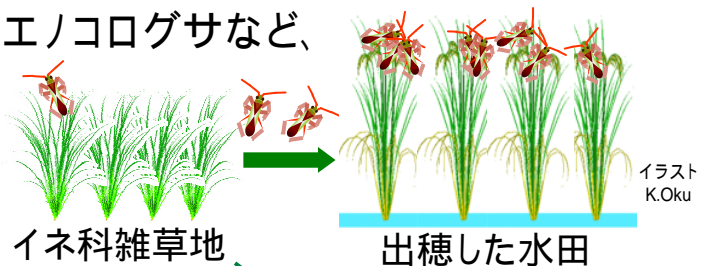
イタリアンライグラス、ヒエ、メヒシバ、エノコログサなど、

出穂したイネ科植物が大好き

出穂したイネ科植物が増えてから、

水稲の出穂をきっかけに水田へ移動

水田での発生の主体は成虫



水田内でのアカスジカスミカメ成虫の発生状況



問い合わせ先 鳥取県農林総合研究所 農業試験場 環境研究室

TEL:0857-53-0721 / FAX:0857-53-0723 / E-mail:nougyoshiken@pref.tottori.jp

本書から転載複製する場合には必ず農業試験場の許可を受けて下さい